

第7次 令和5年度から

池田市総合計画が スタートします



まちの将来像と、その将来像を実現するための施策の方向性を示すものです。

基本構想

基本構想に示したまちの将来像の実現に向けて、体系別の施策を示すものです。

基本計画

計画の構成

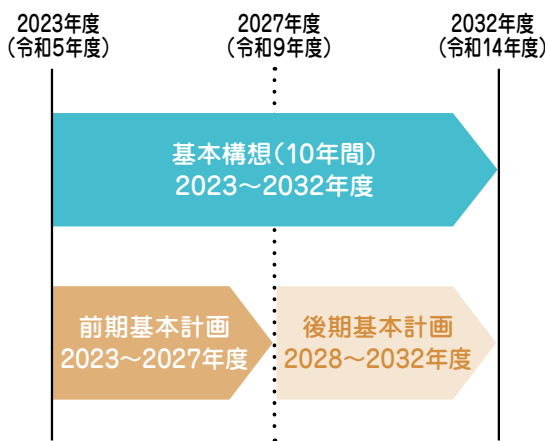
第7次池田市総合計画は、「基本構想」と「基本計画」の2層で構成します。

総合計画とは、「住みやすい」「住んでみたい」「住んでよかった」と感じられるまちであり続けるために、めざすべき中長期的な将来像を描き、それを実現するための基本的な目標や必要となる施策を明らかにするものです。

現行の第6次池田市総合計画が今年度目標年度を迎えます。この間、時代の変化に伴う人々のライフスタイルや価値観の多様化とともに、少子高齢化と人口減少の進行、そして頻発する自然災害や新型コロナウイルス感染症などの諸課題に対し、持続可能で強じんな社会の実現が求められてきました。このような中、めざすまちの将来像を描き、その実現のための市政運営の指針を示すために、第7次池田市総合計画を策定します。

計画の期間

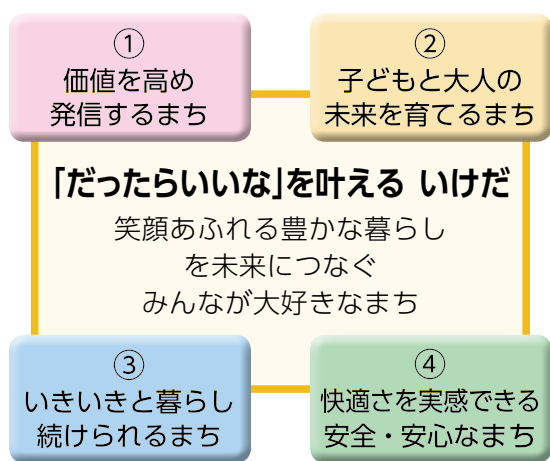
基本構想は2023～32年度の10年間、基本計画は前期と後期に分け、前期基本計画は2023～27年度、後期基本計画は2028～32年度のそれぞれ5年間とします。



めざすまちの将来像

第7次池田市総合計画でめざすまちの将来像は、「笑顔あふれる豊かな暮らしを未来につなぐみんなが大好きなまち」です。

さらに、市民のまちへの愛着を深めるとともに、まちづくりへの多様な想いを叶えることで、まちの価値の持続的な向上につなげることをめざします。この将来像のキャッチフレーズを公募アイデアの中から「『だったらいいな』を叶えるいけだ」に決定し、この実現に向けた目標として、4つのまちの将来イメージを設定します(将来イメージに即した施策の柱の内容は4ページ参照)。



まちづくりの進め方

まちづくりを進めるに当たっては、次の3つを全ての施策に通じる基本的な考え方とします。

① SDGsの推進

SDGsを基本構想の根底にある考え方として捉え、全ての施策に反映します。また、SDGsの目標年次である2030年(令和12年)以降もその理念を継承し、発展させながら、時勢に応じた取り組みを進めます。



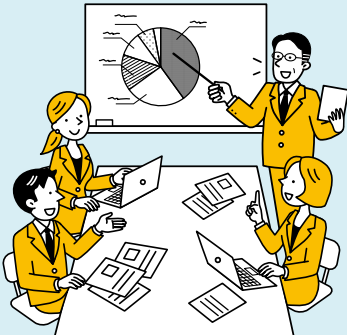
② みんなで取り組むまちづくり

各施策の推進においては、行政だけでなく市民や地域団体、NPO、企業、教育・研究機関といった異なる立場の多様な主体がそれぞれの特性をいかした役割を果たし、お互いに協力して取り組みます。



③ 持続可能な都市経営

多様化、複雑化する行政需要に対応するために、先端技術などを積極的に活用するとともに、全ての施策を持続可能な都市経営の実現という観点から評価し、「選択と集中」を進めます。



人口の目標

定住人口

市民の健康長寿の維持・向上や少子化対策に取り組むとともに、市外からの移住を促進し、この結果として、2032年度に10万人の定住人口を維持することをめざします。

まちづくり人口

以下の3つの人口区分の総称です。まちづくり人口の拡大や相互の交流により、さらなる都市活力の向上や、定住人口の増加につながっていくことをめざします。

● **活動人口**：地域の活動に参加する市民

● **交流人口**：市民以外で通勤、通学、観光などで訪れる人々

● **関係人口**：本市のファンやサポートのような人々

財政の目標

将来世代へ負担を先送りしないよう、効率的な行政サービスの提供に努めるとともに、定住人口の維持と転入促進や産業振興を通じた市税などの増収を図り、健全かつ持続可能な財政運営の実現をめざします。

土地利用の方針

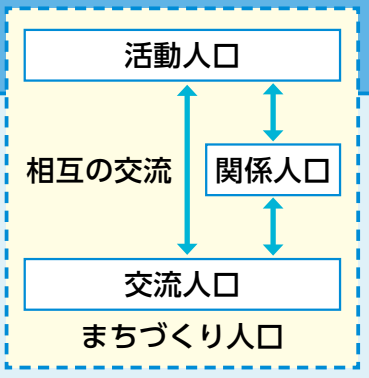
次のような土地利用により、まちの将来像の達成に向けてまちづくりを進めます。

① 五月山の緑、猪名川、余野川などの清流によって形づくられた、都市的土地利用と農業的土地利用がバランスよく共存するまち。

② 大阪都心の近郊に位置する高い利便性、自然環境が身近で快適な生活環境をはじめ、鉄道駅周辺に商業・業務機能が集積しているといった本市の特性をいかし、便利で、快適で、暮らしやすいコンパクトなまち。

③ 災害に備えた安全・安心なまちづくりを進めるとともに、豊かな自然環境や景観、歴史・文化などのほかにない資源をいかすことで、価値が向上するまち。

定住人口(市民)



前期基本計画の各施策とめざす姿

前期基本計画の計画期間(2023~27年度)においては、4本の施策の柱の下に、それぞれ4つの施策を位置付けて、それぞれのめざす姿に向けた取り組みを推進します。

施策の柱 1

価値を高め発信するまちづくり

施策1 「環境共創」のまちづくり

環境学習の推進、みどりの都市環境づくり、脱炭素・循環型社会の推進

施策2 地域特性をいかしたまちづくり

まちなかの魅力づくり、細河地域の活性化

施策3 都市活力の維持と活性化

農園芸・商工業の振興、勤労福祉・消費生活の充実

施策4 シティプロモーションの展開

いけだの魅力発信とファンの創出、観光の推進とイベントなどの促進

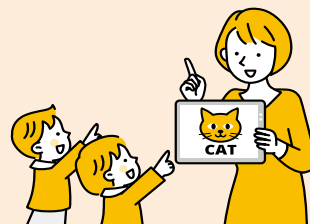


施策の柱 2

子どもと大人の未来を育てるまちづくり

施策1 子ども・子育て支援の充実

妊娠期からの子育て支援体制・療育・発達支援の充実、子どもを守り子育てを支える環境づくり、就学前教育・保育・放課後児童対策の充実



施策2 学校教育の充実

教育内容・教育環境の充実、学校教育を支える地域づくり

施策3 生涯学習の推進と郷土愛の醸成

社会教育の振興、歴史文化遺産の保存・活用

施策4 文化・芸術・スポーツ活動の推進

文化・芸術活動の促進、スポーツの振興

施策の柱 3

いきいきと暮らし続けられるまちづくり

施策1 人権と多様性を尊重するまちづくり

人権文化の醸成、男女共同参画の推進、多文化共生社会づくり、包括的な支援体制の構築

施策2 高齢福祉の充実

元気高齢者の応援、地域包括ケアシステムの充実、介護保険制度の適正運用、認知症対策の充実

施策3 障がい福祉の充実

生活支援サービスの充実、社会参加の拡大、雇用の促進

施策4 保健・医療の充実

健康づくりの推進と生活習慣病の予防、地域医療体制の充実、医療保険制度の安定的運営、感染症対策の推進



施策の柱 4

快適さを実感できる安全・安心なまちづくり

施策1 「危機への備え」の充実

地域の防犯・防災力の向上、都市防災機能の充実、消防・救急体制の強化

施策2 快適な住宅・住環境づくり

良好な住宅ストックの供給・空き家の適正管理と利活用の促進、公園・緑地の利活用、快適環境の保全

施策3 道路・公共交通の充実

道路整備と維持保全、公共交通体系の整備、交通安全対策

施策4 上下水道の充実

安全で安定した水の供給、下水道施設の更新・維持・保全、公営企業としての健全経営の推進



※前期基本計画(2023~27年度)は、決定された基本構想を踏まえながら、本年度決定予定で現在調整中です。
※後期基本計画(2028~32年度)は、前期基本計画の進捗などを踏まえて、今後策定します。

計画に込めた想いについて

新しい総合計画がスタートするに当たり、市民を代表して3人の想いを話していただきました(敬称略)。

池田市総合計画審議会
会長 中川 幾郎



池田市総合計画審議会では、第7次池田市総合計画の策定に当たり、公募市民をはじめ、市内関係団体の方々や諸方面の学識経験者、大学生など、本市に関わるさまざまな人々が集まり、衆知を集めて将来のまちづくりについて考え、議論を重ねました。

この計画は、審議会委員だけではなく、本市に関わるたくさんの方々の想いを集積したものです。計画のスタートを迎えるに当たり、瀧澤市長や市職員の皆さまには、それらの想いを着実に実現されることを期待しています。私たちの審議会委員としての役割は終わりますが、今後もそれぞれの立場から本市のまちづくりに関わっていきたく思いますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

計画キャッチフレーズの採用
作品応募者 根本 晃輔



私は、生まれてから22年間池田に住んでいる大学4年生です。キャッチフレーズには、市民全員が「くだったらしいな」という気持ちに寄り添い、素直に応える市政を進めてほしいという想いを込めました。

このキャッチフレーズがしっかりと意味をなしていくためには、市政を行う人たちだけでなく、私たち池田市民、一人ひとりの想いが重要です。市政にちよつとでも興味を持ってみて、自身の想いを伝えたり、関わったりしてみる。そうすることで、あなたの「くだったらしいな」が少しずつ実を結んでいきます。計画が完成した際にはぜひ読んでいただき、未来の本市をワクワク想像しながら、興味を持っていただければとてもうれしいです。

池田市議会
議長 小林 義典



第7次池田市総合計画の根幹となる「基本構想」は、本年9月の市議会定例会において賛成多数により可決いたしました。

近年の社会情勢の変化は目まぐるしく、多種多様な課題を乗り越えていくためには、柔軟で持続可能な市政運営が求められます。審議に当たっては、各分野において時勢に応じた、また、誰一人取り残すことのない施策が進められるよう、議論を重ねてまいりました。

この計画は、池田の今後10年間に於ける重要な道標となります。めざますまちの将来像である「笑顔あふれる豊かな暮らしを未来につなぐ、みんなが大好きなまち」の実現に向けて、各施策が適切に実行されるよう、市議会といたしましても尽力してまいります。

計画の推進に向けて

第7次池田市総合計画は、市民意識調査やワークショップ、パブリックコメントなどを通じて、「ご意見をくださった市民の皆さま、慎重な議論をいただいた総合計画審議会および市議会の皆さまをはじめ、数多くの方々のご協力のもと策定に至りました。この場をお借りして、心よりお礼を申し上げます。

本市の総合計画は、1970年に第1次計画が策定されて以来、数度の改定を重ね、今日まで至りました。市民、市議会、行政などの協働によるまちづくりの指針となるこの計画に基づいて、時代に即した必要な施策に取り組み、皆さまと共にまちづくりを推進してまいります。

池田市長 瀧澤 智子

総合計画の本編および概要版は、3月末までに市ホームページで公開予定です。
また、行政情報コーナー(市役所2階)や図書館などに配架予定です。